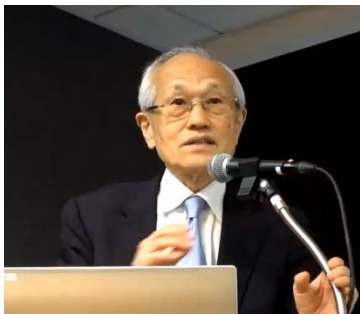


第 17 回学術・政策勉強会 開催報告

日本麻酔科医会連合 第 17 回学術・政策勉強会は 2025 年 6 月 28 日に日比谷国際コンファレンススクエアにて開催されました。今回のテーマは「麻酔科医の皆さん起業しませんか！」で、まず武田純三代表理事よりご挨拶がありました。日本政府の骨太の方針にもスタートアップを推進する事が明記され、今後日本の経済が回復していくためにも、新規企業が推奨されていることが紹介されました。すでに東京大学や慶応大学などでは起業関連で数百億に上る資金が集められているようです。またおじさん、おばさんにはとっつきにくいベンチャー、スタートアップなどの用語解説もして頂きました。最後に次回 11 月の勉強会が無痛分娩のテーマで行われ、8 月には国立印刷局の見学ツアーが行われることが紹介されました。



挨拶 武田 純三 代表理事



司会 山田 高成先生
慶應義塾大学



講演 1 宗像 亮介先生
慶應義塾大学スタートアップ部門

次に山田高成慶應義塾大学教授司会のもと指定講演 I として慶應義塾大学スタートアップ部門の宗像亮介先生より講演がありました。なぜスタートアップが必要か？という質問に対して、近年は 1.新薬は小規模企業で生まれ、2.サイエンスや技術の革新が起点となる創薬が多く、3.アカデミアと企業をつなぐものが必要である事が述べられました。また慶應義塾大学での取り組みを詳細にご説明いただき、大変為になるご講演でした。

指定講演 II.1 として東北大学発株式会社エピグノの取締役である志賀卓弥先生のご講演がありました。実際に製品化されている SaaS であるエピタル HR の説明がありました。医療関係者向け自動シフト作成機能による効果の説明があり、すでに 100 を超える病院で導入されているようです。さらにもともと手術室マネジメント機能から始めた事業をピボットし自動シフト作成機能に特化した経験をお話いただきました。医師にしか出来ない起業家としての夢を語っていただきました。指定講演 II.2 は横浜市立大学発株式会社 CROSS SYNC の高木俊介先生の講演でした。初期の企業との共同研究での挫折、一社目の起業での失敗なども正直にお話いただき、とても参考になるものでした。AI ソフトの開発から、遠隔集中治療システムの開発、起業ととても多くのステップを経ながら進んで来られた事がよくわかる講演でした。志を高く持ち、大いなる自己成長を目指す姿は、いろいろな分野に刺激を与えたことと思います。指定講演 II.3 は大阪大学発 PaMeLa 株式会社の中江文先生でした。起業して育ててきた企業から 2023 年に離れた経験をお話いただきました。ものづくり企業や PMDA、厚生労働省などとのやりとりから、社会の仕組みを学び、道筋をつ

けていく大切さをお示しいただきました。法律やファイナンス、プロジェクトマネジメントの知識の大切さを熱く語っていただきました。麻酔科医こそ起業に向いていると心強いエールをいただきました。



講演 2 志賀 卓弥先生
株式会社エピグノ：東北大学発



講演 3 高木 俊介先生
株式会社 CROSS SYNC:
横浜市立大学発



講演 3 中江 文先生
PaMeLa 株式会社：
大阪大学発

討論の前には森田潔事務局より、飛び入り発言もございました。討論ではなぜ起業なのかや苦労話を多くしていただき、大変参考になりました。人集めに関しても苦労話や良い社長をいかに連れてくるかが課題であることを共有していただきました。近年では起業に対する様々な支援制度もあるようですので、その活用なども大切であることが共有されました。



新任教授講演は杏林大学医学部麻酔科学教室 主任教授の森山潔先生、藤田医科大学医学部麻酔・集中治療医学講座 教授の中村智之先生が登壇されました。それぞれの施設の紹介と、これからの目標を熱く語っていただきました。



座長 内田 寛治先生
東京大学大学院医学系研究科
生体管理医学講座麻酔科学 教授



講演 1 森山 潔先生
杏林大学医学部麻酔科学教室
主任教授



講演 2 中村 智之先生
藤田医科大学医学部麻酔・
集中治療医学講座 教授

最後に森田潔事務局長より麻酔科医が広い視野を持って、社会に貢献する事を考えるべきであると言うメッセージをいただきました。



挨拶 森田 潔 事務局長



次回の開催は 11 月 29 日、その後は 1 月の岡山での学術集会であることがアナウンスされ、第 17 回学術・政策勉強会は終了しました。

【次回の開催情報】

第 18 回学術・政策勉強会 日時：2025 年 11 月 29 日 14：00～18 時 30 分（予定）

開催場所：コモレ四谷タワーコンファレンス 3F アクセス：<https://comore-yotsuya.jp/access/>

広報委員会 森松 博史（文責） 飯田 宏樹（2025 年 9 月）